Schneider Electric Industries

Uni-Telway ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	7
3	通信設定例	8
4	設定項目	23
5	結線図	
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	54
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

Schneider Electric Industries 製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU 上の Programming ポート	RS232C	設定例 1 (8ページ)	結線図 1 (30ページ)
	TSX 07 3L 28 TSX 07 30 10 TSX 07 31 16		RS422/485 (2線式)	設定例 2 (11 ページ)	結線図 2 (31ページ)
Nano	TSX 07 31 10 TSX 07 31 24 TSX 07 32 28 TSX 07 33 28	アクセサリボックス TSX P ACC 01 上の AUX または TER ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 2 (11 ページ)	結線図 2 (31 ページ)
		アクセサリボックス TSX SCA 62	RS422/485 (2線式)	設定例 2 (11 ページ)	結線図 3 (35ページ)
	TSX 37 05 028DR1 TSX 37 08 056DR1		RS232C	設定例 3 (14ページ)	結線図 1 (30ページ)
	TSX 37 10 128DT1 TSX 37 10 128DR1		RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 2 (31ページ)
	TSX 37 10 128DTK1 TSX 37 10 164DTK1 TSX 37 10 028AR1	CPU 上の AUX ポート	RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 2 (31ページ)
Micro	TSX 37 10 028DR1 TSX 37 21 101 TSX 37 22 101	アクセサリボックス TSX P ACC 01 上の AUX または TER ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 2 (31ページ)
	TSX 37 21 001 TSX 37 22 001	アクセサリボックス TSX SCA 62	RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 3 (35ページ)
	TSX 37 21 101 TSX 37 22 101 TSX 37 21 001 TSX 37 22 001	RS485 用 PCMCIA カード TSX SCP 114	RS422/485 (2 線式)	設定例 5 (20ページ)	結線図 4 (39 ページ)
			RS232C	設定例 3 (14ページ)	結線図 1 (30ページ)
			RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 2 (31ページ)
	TSX P57 103M TSX P57 153M	CPU 上の AUX ポート	RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 2 (31ページ)
Premium	TSX P57 203M TSX P57 253M TSX P57 303M	アクセサリボックス TSX P ACC 01 上の AUX または TER ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 2 (31 ページ)
	TSX P57 353M TSX P57 453M	アクセサリボックス TSX SCA 62	RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17 ページ)	結線図 3 (35ページ)
		RS485 用 PCMCIA カード TSX SCP 114	RS422/485 (2線式)	設定例 5 (20ページ)	結線図 4 (39ページ)
		RS485 用通信モジュール TSX SCY 21601	RS422/485 (2線式)	設定例 4 (17ページ)	結線図 5 (46ページ)

接続構成

Nano シリーズ

1:1 接続



Programming ポート: 最大5台

Micro シリーズ

1:1 接続

TER ポート、AUX ポート、または PCMCIA カードに接続することができます。同時接続も可能です。



• n:1 接続(アクセサリボックスを使用する場合)



TER ポート: 最大5台

• n:1 接続 (RS485 用 PCMCIA カードを使用する場合)



PCMCIAカード: 最大98台

Premium シリーズ

1:1 接続

TER ポート、AUX ポート、PCMCIA カード、または通信モジュールに接続することができます。同時接続も可能です。



• n:1 接続(アクセサリボックスを使用する場合)



TERポート: 最大5台

• n:1 接続 (RS485 用 PCMCIA カードを使用する場合)



PCMCIAカード: 最大98台

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

ð	プロジェクト	ファイルの新規作品	\$	>	¢
[- 接続機器				
	メーカー	Schneider Electric	: Industries		
	シリーズ	Uni-Telway		•	
	🗆 システ	ムエリアを使用する		この接続機器のマニュアルを見る	
[接続方法				
	ポート	COM1	•		
				搬品体在ショーマルム	
				1版価技売イニュアルへ	
		戻る	通信の詳細設定		

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「Schneider Electric Industries」を選択 します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「Uni-Telway」を 選択します。 「Uni-Telway」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ^{②デ} 「1システム構成」(3ページ)
システムエリアを使田	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用)」
する する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.14.6[システム設定ウィンドウ] の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド システムエリア設定」
	参照:保守/トラブル解決ガイド「2.14.1 表示器共通」 [本体設定]の設定ガ イド システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1					
概要	概要					
	メーカー Schneider B	lectric Industrie	es シリーズ Uni-T	elway	ポート COM1	
	文字列データモード	1 <u>変更</u>				
通信	設定					
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485位線式) C RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	•			
	データ長	O 7	© 8			
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数		
	ストップビット	● 1	02			
	フロー制御	€ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF		
	タイムアウト	3	(sec)			
Γ						
	クライアントアドレス		* =			
	連続アドレス数					
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC			
	RS232Cの場合、9番	ませいをRI(入力)	にするか VCC (5V電源供給)		
	にするがを選択できる	kg。テンダル製作 、VCCを選択し	いってい。 てください。	初期設定		
機器	影影定					
	接続可能台数 16台	the				
	No. 機器名		設定			
	M PLOI		「「「イットワーク=	リステージョン=204,ケート=0,セレクタ	=0.1安1元小1フト/モンユール=254.	

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 設定できる接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
ネットワーク	p 😑
ステーション	254 🔆
ゲート	0 🚍
セレクタ	
接続ポイント/モジュール	254 🔆
リファレンス/チャンネル	0 😐
通信の最適化	
使用するフレーム長	● 最大
	🔘 128/ኛ/ጉ
	⊙ 32/ኝብト
	◎ 最小
内部デバイスへのビット操作(セット	/リセット)
ワード内のその他のビットデータ	○ クリアする
	⊙ クリアしない
「クリアしない」を選択した場合の注 表示機が接続機器の内部デバイ 書込むまでの間に、そのアドレスの と、正しいデータが書込まれない場	注意。 スのデータを読出し接続機器へ 値をラダーブログラムで変更する 洽があります。
変数	
ダブルワード・ワード順位	下位ワード(L/H) 💌
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の設定

接続機器側の通信設定はラダーソフト「PL7-07」で行います。

PL7-07 で [Configuration] [Programming Port]を選択し、下記のように通信設定を行います。

設定項目	設定内容
Туре	UNI-TELWAY Master
Bit/sec	19200
DateBits	8 bits
ParityOdd	Odd
Stop Bits	1 bits
Number of Slaves	8

注意事項

 接続機器側の設定「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に 設定しないでください。「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に設定した場合、タイムアウトエラーが発生し、接続機器と通信することができません。 また、同一シリアルネットワーク上に多数のクライアント機器(表示器・接続機器)を接続する 場合、表示器側のタイムアウト時間を大きくしてください。 3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	援器1 】			
概要	Į		接	<u>続機器変更</u>
	メーカー Schneider B	Electric Industries	s シリーズ Uni-Telway ポート COM	l
	文字列データモード	1 <u>変更</u>		
通信	設定			
	通信方式	O RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	0.7	© 8	
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ● 奇数	
	ストップビット	● 1	O 2	
	フロー制御	€ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 🔅 (sec)	
Γ				
	クライアントアドレス	4 5		
	連続アドレス数	ļ		
	RI / VCC	© RI	O VCC	
	RS232Cの場合、9番		でするか VCC (5 V電源供給)	
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	スださい。	
機器	。 別設定			
	接続可能台数 16台			
	No. 機器名		設定	- /モジュール=2541

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 設定できる接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
ネットワーク	P 😑
ステーション	254 🔆
ゲート	0 😑
セレクタ	
接続ポイント/モジュール	254 🚊
リファレンス/チャンネル	0 😑
通信の最適化	
使用するフレーム長	● 最大
	○ 128/ኛ/ト
	⊙ 32/ኝብト
	○ 最小
内部デバイスへのビット操作(セット	/リセット)
ワード内のその他のビットデータ	○ クリアする
	クリアしない
「クリアしない」を選択した場合の注 表示機が接続機器の内部デバイ 書込むまでの間に、そのアドレスの と、正しいデータが書込まれない場	注意。 スのデータを読出し接続機器へ 値をラダープログラムで変更する 洽かあります。
変数	
ダブルワード・ワード順位	下位ワード(L/H) 🔹
	初期設定
	OK(() キャンセル

接続機器の設定

接続機器側の通信設定はラダーソフト「PL7-07」で行います。

PL7-07 で [Configuration] [Programming Port]を選択し、下記のように通信設定を行います。

設定項目	設定内容
Туре	UNI-TELWAY Master
Bit/sec	19200
DateBits	8 bits
ParityOdd	Odd
Stop Bits	1 bits
Number of Slaves	8

注意事項

 接続機器側の設定「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に 設定しないでください。「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に設定した場合、タイムアウトエラーが発生し、接続機器と通信することができません。 また、同一シリアルネットワーク上に多数のクライアント機器(表示器・接続機器)を接続する 場合、表示器側のタイムアウト時間を大きくしてください。 3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	援器1		
概要	Į		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー Schneider B	lectric Industries	s シリーズ [Uni-Telway ポート COM1
	文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信	設定		
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	T
	データ長	0.7	© 8
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ● 奇数
	ストップビット	● 1	0 2
	フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	β 🔆 (s	sec)
Γ			
	クライアントアドレス	4 F	
	連続アドレス数	Ľ	
Γ	RI / VCC	• RI	© VCC
	RS232Cの場合、9都 にするかち避けできる	ませンをRI(入力)に ます。デジカル制度	するかVCC(5V電源供給)
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	ください。 初期設定
機器			
	接続可能台数 16台	110	
	No. 機器名		設定

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 設定できる接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
ネットワーク	0 😑
ステーション	254 🔆
ゲート	0 🚊
セレクタ	
接続ポイント/モジュール	254
リファレンス/チャンネル	0 🚊
通信の最適化	
使用するフレーム長	④ 最大
	🔘 128/ና/ጉ
	🔘 32/ኝ/ ኮ
	○ 最小
内部デバイスへのビット操作(セット	-/リセット)
ワード内のその他のビットデータ	○ クリアする
	クリアしない
「クリアしない」を選択した場合の注 表示機が接続機器の内部デバイ 書込むまでの間に、そのアドレスの と、正しいデータが書込まれない場	主意。 スのデータを読出し接続機器へ 値をラダーブログラムで変更する 給合があります。
ダブルワード・ワード順位	下位ワード(L/H)
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の設定

接続機器側の通信設定はラダーソフト「PL7-07」で行います。

「PL7-07」の [Application Browser] 内 [Confiuration] [Hardware Configuration] [Comm] で、下記のように通信設定を行います。

設定項目	設定内容
	CHANNEL 0
	UNI-TELWAY LINK
Туре	Master
Trasmission Speed	19200
Data	8 bits
Parity	Odd
Stop	1 bits
Number of Slaves	8

注意事項

 接続機器側の設定「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に 設定しないでください。「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に設定した場合、タイムアウトエラーが発生し、接続機器と通信することができません。 また、同一シリアルネットワーク上に多数のクライアント機器(表示器・接続機器)を接続する 場合、表示器側のタイムアウト時間を大きくしてください。 3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	Ę		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー Schneider B	Electric Industries	s シリーズ Uni-Telway ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)
	通信速度	19200	•
	データ長	0.7	© 8
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ● 奇数
	ストップビット	⊙ 1	0 2
	フロー制御	© なし	C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔅 (sec)
[A	
	クライアントアトレス	14 F	
	理続アドレス数	Ľ	
	RI / VCC	© RI	C Voc
	RS232Cの場合、9種 にするかを避けでき	番ピンをRI(入力)に ます。デジカル制度	するかVCC(5V電源供給)
	トを使用する場合は	、VOCを選択して	なお20パイリレーションユニック ください。 初期設定
機器			
	No. 機器名		設定
	🔏 1 PLC1		

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 設定できる接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機器設定	
PLC1	
ネットワーク	0
ステーション	254 🔆
ゲート	p 😐
セレクタ	
接続ポイント/モジュール	254
リファレンス/チャンネル	0 芸
通信の最適化	
使用するフレーム長	④ 最大
	🔘 128/ኝብት
	O 32/57 F
	○ 最小
内部デバイスへのビット操作(セッ	トハリセット)
ワード内のその他のビットデータ	○ クリアする
	⊙ クリアしない
「クリアしない」を選択した場合の: 表示機が接続機器の内部デバイ 書込むまでの間に、そのアドレスの と、正しいデータが書込まれないま	注意。 (スのデータを読出し接続機器へ D値をラダープログラムで変更する 易合があります。
ダブルワード・ワード順位	下位ワード(L/H) ▼
	初期設定
	0K(0) & w dati
L	

接続機器の設定

接続機器側の通信設定はラダーソフト「PL7-07」で行います。

「PL7-07」の [Application Browser] 内 [Confiuration] [Hardware Configuration] [Comm] で、下記のように通信設定を行います。

設定項目	設定内容
	CHANNEL 0
	UNI-TELWAY LINK
Туре	Master
Trasmission Speed	19200
Data	8 bits
Parity	Odd
Stop	1 bits
Number of Slaves	8

注意事項

 接続機器側の設定「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に 設定しないでください。「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に設定した場合、タイムアウトエラーが発生し、接続機器と通信することができません。 また、同一シリアルネットワーク上に多数のクライアント機器(表示器・接続機器)を接続する 場合、表示器側のタイムアウト時間を大きくしてください。 3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	2.881		
概要	ļ		接続機器変更
	メーカー Schneider B	Electric Industries	シリーズ Uni-Telway ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)
	通信速度	19200	V
	データ長	O 7	© 8
	パリティ	○ なし	C 偶数 ● 奇数
	ストップビット	⊙ 1	C 2
	フロー制御	© なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	β 🔆 («	ec)
Γ	カニノマントマドリフ	м	
	シノイアンドアドレス	r F	
	理院アドレス数	Ľ	
	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9都 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジカル観察	するかVCC6V電源供給) 32320アイバルージョンフェッ
	下を使用する場合は	、Vooを選択して	でたてい。 初期設定
機器	別設定		
	接続可能台数 16台	1	
	No. 機器名		設定

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 設定できる接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
ネットワーク	0 🗄
ステーション	254 🔆
ゲート	0
セレクタ	
接続ポイント/モジュール	254 🔆
リファレンス/チャンネル	0 😑
通信の最適化	
使用するフレーム長	● 最大
	🔿 128/ኝፈኑ
	🔿 32/ኝቶ ኮ
	○ 最小
内部デバイスへのビット操作(セット	/リセット)
ワード内のその他のビットデータ	○ クリアする
	◎ クリアしない
「クリアしない」を選択した場合の注 表示機が接続機器の内部デバイ 書込むまでの間に、そのアドレスの と、正しいデータが書込まれない場	注意。 スのデータを読出し接続機器へ 値をラダープログラムで変更する ☆があります。
ダブルワード・ワード順位	下位ワード(L/H) 💌
	初期設定
	OK((0) キャンセル

接続機器の設定

接続機器側の通信設定はラダーソフト「PL7-07」で行います。

「PL7-07」の [Application Browser] 内 [Confiuration] [Hardware Configuration] [Comm] で、下記のように通信設定を行います。

設定項目	設定内容	
	CHANNEL 1	
CHANNEL	TSX SCP 114 RS485 MP PCMCIA CARD	
	UNI-TELWAY LINK	
Туре	Master	
Trasmission Speed	19200	
Data	8 bits	
Parity	Odd	
Stop	1 bits	
Number of Slaves	8	

注意事項

 接続機器側の設定「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に 設定しないでください。「Number of Slaves」を超えるアドレスを Server Address および Clients Address に設定した場合、タイムアウトエラーが発生し、接続機器と通信することができません。 また、同一シリアルネットワーク上に多数のクライアント機器(表示器・接続機器)を接続する 場合、表示器側のタイムアウト時間を大きくしてください。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。 ^{GP}「3通信設定例」(8ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー Schneider Elect	tric Industries	シリーズ Uni-Telway		ポート COM1
文字列データモード 1				
通信設定				
通信方式 📀	RS232C (CRS422/485(2線式) C	RS422/485(4線式)	
通信速度 19	9200	•		
データ長 〇	7 6	58		
パリティ 〇	なし)偶数 💽 奇数	t	
ストップビット 💿	1 0	2		
7日一制御 💿	なしく) er(dtr/ots) 🛛 🔿 Xof	1/XOFF	
タイムアウト 🛛	: (sec)		
カライアントアドレス	4			
連続アドレス数	1			
	I			
RI / VCC 📀	RI (VCC		
RS232Cの場合、9番ビ にするかを選択できます。	ンをRI(入力)にす? 。デジタル製RS23	るかVCC(5V電源供給) 32Cアイソレーションユニッ		
下を使用する場合は、V	iCCを選択してくだ	₹(\°	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 📗		= 1		
No. 機器名			ション=254,ゲート=0,セレクタ=	0.接続ポイント/モジュール=254.
接続可能台数 16台 📗 No. 機器名 👗 1 PLC1		設定 []] ネットワーク=0,ステー:	ション=254,ゲート=0,セレクタ=	0.接続ポイント/モジュール=254 <u>.</u>

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。
クライアントアドレス	クライアントアドレス(自局のアドレス)を「1 ~ 98」で入力します。
連続アドレス数 ¹	連続アドレス数を「1~5」で入力します。
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に9番ピンのRI/VCCを切り替えます。

1 「クラインアントアドレス + 連続アドレス数 -1」の値は 98 を超えることがないように設定してくだ さい。98 を超えたアドレスはマスターからポーリングされないため、使用されません。 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 設定できる接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
ראל	
ネットワーク	p 😑
ステーション	254 🔆
ゲート	p 😐
セレクタ	P 🚊
接続ポイント/モジュール	254 🔆
リファレンス/チャンネル	0
通信の最適化	
使用するフレーム長	④ 最大
	C 128/ኛቶኑ
	C 32/Ÿ/ト
	○ 最小
- 内部デバイスへのビット操作(セッ	ト/リセット)
ワード内のその他のビットデータ	C クリアする
	⊙ クリアしない
「クリアしない」を選択した場合の	
表示機が接続機器の14部デバイ 書込むまでの間に、そのアドレスの と、正しいデータが書込まれないま	1人のテーダを読出し接続機器へ D値をラダーブログラムで変更する 易合があります。
-変数	
ダブルワード・ワード順位	下位ワード(L/H)
	初期設定
C	OK((2) キャンセル

設定項目	設定内容
ネットワーク	相手先接続機器のネットワーク番号を入力します。
ステーション	ネットワーク内のステーション番号を入力します。
ゲート	ステーション内のゲート番号を入力します。
セレクタ	接続された通信チャネルを入力します。この項目はゲートの値が「8」の場合のみ 有効となります。
接続ポイント / モ ジュール	Level 6 Addressing 時は接続ポイントを、Level 5 Addressing 時はモジュール番号を入 力します。
リファレンス / チャ ンネル	Level 6 Addressing 時はリファレンスを、Level 5 Addressing 時はチャンネルを入力します。
使用するフレーム長	フレーム長を指定します。
ワード内のその他の ビットデータ	内部デバイスヘビット操作をした場合の、同一ワード内のその他のビットデータの 扱いを「クリアする」「クリアしない」から選択します。
ダブルワード・ワー ド順位 ¹	16 ビットデバイスを 32 ビット表示する際のワード順位を指定します。

1 ワード順位を変更した場合は、画面データの全デバイスを再設定してください。

4.2 オフラインモードでの設定項目

参照:保守/トラブル解決ガイド「2.2オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
Uni-Telway			[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー知御 タイムアウト(s) クライアントアド 連続アドレス数	RS232C 19200 8 なし 1 なし	○ 借数 2 3 ▼ ▲ 4 ▼ ▲ 1 ▼ ▲	 ● 奇数
	終了		戻る	2005/09/02 13:14:32

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。
クライアントアドレス	クライアントアドレス(自局のアドレス)を「1 ~ 98」で入力します。
連続アドレス数 ¹	連続アドレス数を「1~5」で入力します。

1 「クラインアントアドレス + 連続アドレス数 -1」の値は 98 を超えることがないように設定してくだ さい。98 を超えたアドレスはマスターからポーリングされないため、使用されません。

機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
Uni-Telway			[COM1]	Page 1/1
接続	器名 PL	01		-
	ネットワーク		0 🔻	
	ステーション ゲート		254 •	
	セレクタ 接続ポイント/モシ	ジュール	254 🔻	
	リファレンス/チョ	ャンネル	0 🔻	
	使用するフレーム	長 最大	いトをクリアした	•
	DWord・ワード順位	この ド操作他のこ	ッドをクリアしな ード	· • '
	終了		戻る	2006/04/12 14:53:30

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
ネットワーク	相手先接続機器のネットワーク番号を入力します。
ステーション	ネットワーク内のステーション番号を入力します。
ゲート	ステーション内のゲート番号を入力します。
セレクタ	接続された通信チャネルを入力します。この項目はゲートの値が「8」の場合の み有効となります。
接続ポイント / モ ジュール	Level 6 Addressing 時は接続ポイントを、Level 5 Addressing 時はモジュール番号を 入力します。
リファレンス / チャン ネル	Level 6 Addressing 時はリファレンスを、Level 5 Addressing 時はチャンネルを入力します。
使用するフレーム長	フレーム長を指定します。
内部デバイスへのビッ ト操作	内部デバイスへのビット操作をした場合の、同一ワード内のその他のビットデー タの扱いを「他のビットをクリアする」「他のビットをクリアしない」で表示し ます。(オフラインモードでは設定できません。)
DWord・ワード順位	16 ビットデバイスを 32 ビット表示する際のワード順位が表示されます。(オフラ インモードでは設定できません。

オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に 9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。

5 結線図

以下に示す結線図と Schneider Electric Industries の推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に 示す結線図でも動作上問題はありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。
- 接続機器と IPC を RS-232C で接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズによって異なります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
 使用可能ポート

シリーズ	使用可能ポート
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ¹
PS-3700A (Pentium®4-M)	COM1 ¹ , COM2 ¹ , COM3 ² , COM4

- 1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてく ださい。
- 2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。
- 接続機器とPS-3700A(Pentium®4-M)のCOM3を接続する場合、COM3の通信方式をディップス イッチで設定する必要があります。詳細はPS-3700A(Pentium®4-M)のマニュアルを参照してくだ さい。

ディップスイッチの設定: RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	OFF	COM2 の通信主式・BS 222C
3	OFF	COM3 の通信力式 . KS-232C
4	OFF	TX データの出力モード:常に出力
5	OFF	TX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	TXA と RXA の短絡:しない
8	OFF	TXB と RXB の短絡:しない
9	OFF	Auto Detection · 無効
10	OFF	

ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	COM2 の通信古式・BS 422/485
3	ON	CONIS 切通百万元、KS-422/465
4	OFF	TX データの出力モード:常に出力
5	OFF	TX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RX への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	ON	TXA と RXA の短絡:する
8	ON	TXB と RXB の短絡:する
9	ON	Auto Datastion · 右动
10	ON	

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) IPC ¹ ²	Schneider Electric Industries 製 ケーブル TSX PCX 1031 (2.5m)	

1 使用できるポートはシリーズによって異なります。 ⁽³⁾使用可能ポート (28ページ)

2 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3 を使用する場合、COM3 の通信方式をディップスイッチで設定す る必要があります。

🍧 ディップスイッチの設定:RS-232C (28 ページ)



結線図 2

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	С	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 10m 以内にして ください。
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³ (COM3)	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
IPC ³ (COM3)	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 自作ケーブル 	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

 3 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3のみ使用できます。COM3を使用する場合、COM3の通信方式を ディップスイッチで設定する必要があります。
 ⁽³⁾ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)(29ページ) A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



自作ケーブル

B) 自作ケーブルを使用する場合



C)(株)デジタル製 オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



F) 自作ケーブルを使用する場合



結線図3

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	С	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 10m 以内にして ください。
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³ (COM3)	Е	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3のみ使用できます。COM3を使用する場合、COM3の通信方式を

A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



自作ケーブル

B) 自作ケーブルを使用する場合



C)(株)デジタル製 オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



F) 自作ケーブルを使用する場合



結線図4

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
		(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	А	+ (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2)		+ Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル TSX SCP CU 4030 (3m)	
		自作ケーブル	
	В	+ Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル TSX SCP CU 4030 (3m)	
		(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	
	С	+ (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	 ケーブル長 は 10m 以内
GP ² (COM2)		+ Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル TSX SCP CU 4030(3m)	さい。 • n:1 接続の場
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	日、祝小品 間の接続は 自作ケーブ
		自作ケーブル	ルか必要で す。
		+ Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル TSX SCP CU 4030 (3m)	
IPC ³ (COM3)	E	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
		・ (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
		+ Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル TSX SCP CU 4030 (3m)	
		自作ケーブル	
	F	、 Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル TSX SCP CU 4030 (3m)	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3のみ使用できます。COM3を使用する場合、COM3の通信方式を ディップスイッチで設定する必要があります。 ⁽³⁾ ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)(29ページ)

MEMO D(A) と SG の線色が同じ白となっています。SG(赤) と SG(白)、D(A) と D(B) でツ イストペアになっているので、それでどちらの線が SG か D(A) かを判断します。

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブ ル(TSX SCP CU 4030)を使用する場合
- 1:1 接続の場合



• n:1 接続の場合



- B) 自作ケーブルおよび Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル(TSX SCP CU 4030)を 使用する場合
- 1:1 接続の場合







 C)(株)デジタル製 オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル (TSX SCP CU 4030)を使用する場合

1:1 接続の場合



• n:1 接続の場合



D) (株) デジタル製 オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01), 自作ケーブル、および Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル (TSX SCP CU 4030) を使用する場合

1:1 接続の場合



• n:1 接続の場合



 E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブ ル(TSX SCP CU 4030)を使用する場合

1:1 接続の場合



n:1 接続の場合



F) 自作ケーブルおよび Schneider Electric Industries 製 Uni-Telway 接続ケーブル (TSX SCP CU 4030)を 使用する場合

1:1 接続の場合 Dsub 9ピン(ソケット) ピン 色 信号名 信号名 青 D(B) 1 DATA+ 表示器 TSX SCP 114側 白 2 D(A) DATA-11 3 NC 赤 SG 終端抵抗 7 SG NC 白 100Ω 1/2W TSX SCP CU 4030 5 GND(SG) 4 ERA 8 CSA 9 ERB 6 CSB 自作ケーブル

n:1 接続の場合 •

٠



結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	С	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 10m 以内にし てください。
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³ (COM3)	Е	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

 3 PS-3700A(Pentium®4-M)の COM3のみ使用できます。COM3を使用する場合、COM3の通信方式を ディップスイッチで設定する必要があります。
 ⁽³⁾ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)(29ページ) A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



B) 自作ケーブルを使用する場合



 C)(株)デジタル製 オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



 E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



F) 自作ケーブルを使用する場合



6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。 また、ラダーソフトの「Software Configuration」設定によっても異なりますので、あわせて確認して ください。

6.1 Nano シリーズ

L はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
内部ワード	%MW00000:X00 - %MW0055:X15	%MW00000 - %MW00255		2 Bit 15
内部ダブルワード	%MD00000:X00 - %MD00254:X31	%MD00000 - %MD00254	 _ΓL / Η)	3 4 <u>+</u> 2 _{B→} 31
定数ワード		%KW00000 - %KW00063	または [H/L] ¹	5 <u>⊪⊤</u> 15]
システムワード		%SW00000 - %SW00127		_{в і т} 15
内部ビット	%M00000 - %M00127			
システムビット	%S00000 - %S00127			

1 格納されるデータの上下関係は、[機器設定]の[ダブルワード・ワード順位]の設定により決まり ます。

⁽³⁾「4.1 GP-Pro EX での設定項目 機器設定」(1-24 ページ)、「4.2 オフラインモードでの設定項 目 機器設定」(1-26 ページ)

2 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

「クリアする」..... _{Bi}15

「クリアしない」.....ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレス を読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表 示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープ ログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

3 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

「クリアする」..... _{B:},31

- 「クリアしない」.....ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレス を読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表 示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープ ログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。
- 4 32 ビット指定で使用してください。16 ビットおよびビット指定を行う場合は %MW デバイスを使用してください。接続機器内部では同じエリアを使用しています。
- 5 書き込み不可。

● システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用)」
 ・ 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

6.2 Micro シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
内部ワード	%MW00000:X00 - %MW17543:X15	%MW00000 - %MW17543		2 <u>Bit</u> 15
内部ダブルワード	%MD00000:X00 - %MD17542:X31	%MD00000 - %MD17542	ΓL/Η)	3 4
定数ワード		%KW00000 - %KW13879	または [H/L] ¹	5 ⊪⊤t 15]
システムワード		%SW00000 - %SW00127		_{ві} ,15)
内部ビット	%M00000 - %M00255			
システムビット	%S00000 - %S00127			

1 格納されるデータの上下関係は、[機器設定]の[ダブルワード・ワード順位]の設定により決まり ます。

⁽²⁾「4.1 GP-Pro EX での設定項目 機器設定」(1-24 ページ)、「4.2 オフラインモードでの設定項 目 機器設定」(1-26 ページ)

2 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

「クリアする」..... _{B++}15)

「クリアしない」.....ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレス を読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表 示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープ ログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

3 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

- 「クリアする」..... _{Bi},31
- 「クリアしない」.....ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレス を読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表 示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープ ログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。
- 4 32 ビット指定で使用してください。16 ビットおよびビット指定を行う場合は %MW デバイスを使用してください。接続機器内部では同じエリアを使用しています。
- 5 書き込み不可。

МЕМО	 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア(ダイレクトアクセ ス方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	^{GP} 「表記のルール」

6.3 Premium シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
内部ワード	%MW00000:X00 - %MW32463:X15	%MW00000 - %MW32463		2 <u>Bit</u> 15
内部ダブルワード	%MD00000:X00 - %MD32462:X31	%MD00000 - %MD32462	 _ΓL / Η)	3 4 <u>+ 2</u>] _{₿ + 1} 31
定数ワード		%KW00000 - %KW32759	または [H/L] ¹	5 ⊪⊤t15]
システムワード		%SW00000 - %SW00255		<u>ві (15</u>)
内部ビット	%M00000 - %M32633			
システムビット	%S00000 - %S00127			

1 格納されるデータの上下関係は、[機器設定]の[ダブルワード・ワード順位]の設定により決まり ます。

⁽²⁾「4.1 GP-Pro EX での設定項目 機器設定」(1-24 ページ)、「4.2 オフラインモードでの設定項 目 機器設定」(1-26 ページ)

2 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

「クリアする」..... _{B++}15)

「クリアしない」.....ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレス を読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表 示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープ ログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。

3 ビット指定時のアクセス方法は[機器設定]の[ワードアドレス内のその他のビットデータ]の設定 により異なります。

- 「クリアする」..... _{Bi},31
- 「クリアしない」.....ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレス を読込み、読込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表 示器が接続機器のデータを読込んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープ ログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があります。
- 4 32 ビット指定で使用してください。16 ビットおよびビット指定を行う場合は %MW デバイスを使用してください。接続機器内部では同じエリアを使用しています。
- 5 書き込み不可。

МЕМО	 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
内部ワード	%MW	0000	ワードアドレス
内部ダブルワード	%MD	0002	ワードアドレス÷2の値
定数ワード	%KW	0003	ワードアドレス
システムワード	%SW	0004	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :2[02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら (エラーコード一覧)」を参照してください。